



高根ヶ原斜面にて採食中の
親子ヒグマ（7月6日）

毎日
痕跡多数

7月1日には、スタッフが
駐車場にて10m程での遭遇

沼めぐりコースは 閉鎖継続中



センターすぐ横の
ミズバショウを食べるヒグマ

ヒグマが近づいてくるという事案があった6/28から、沼めぐりコースは現在も閉鎖を継続中です。閉鎖中もスタッフによる巡視を行っていますが、コース内に足跡、フン、食痕などを多数確認しています。行きには無かった足跡が帰りにはついていたり、ミズバショウの食痕は、食べつくさんばかりの勢い。
7/1にはセンター前駐車場のトイレ付近で、ヒグマとスタッフが距離10mでバッタリ遭遇するということもありました。駐車場脇のミズバショウを食べていたようです。
はたまた7/10には、巡視中のスタッフが滝見沼にてヒグマと遭遇。こちらに気が付いてはいない様子でしたが、登山道を歩きながら近づいて来た為その場から一旦撤収することに。沼めぐりコース一帯では、わかる範囲で6頭ほどのヒグマを確認しています。

そんな中、7月6日には高根ヶ原斜面に親子のヒグマが確認されました。コース内は雪解けも進み、高根ヶ原斜面にも草が青々としてきました。コース内を生活圏にしているヒグマ達が高根ヶ原斜面へと生活の拠点を移したら、樹林帯での遭遇は減るはず…。雄が雌を追いかける繁殖期も7月中には終わると一般的には言われています。
状況が変化しオープンできることを祈りつつ、巡視を続けています。

7月13日までは閉鎖が決定しています。その後の開放については、コースの状況を見つつ、管理者である北海道等、関係行政と検討を行ないながらの決定となります。開放状況は随時ヒグマ情報センターのSNS等をご確認ください。



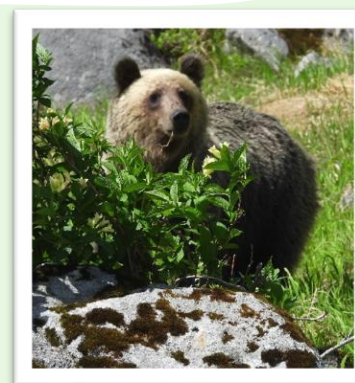
↑ 巡視の帰り道についていた
新しい濡れた足跡
一面食べつくさんばかりの
ミズバショウの食痕 →



食痕、フン、足跡、
センサーカメラに映ったヒグマなど
コース内で確認した様々な痕跡



↓ センターから500mの場所の
センサーカメラに映ったヒグマ



↑ 7/9、大学沼のほとりでは、
のんびりと食事をしているヒグマを
確認しました。



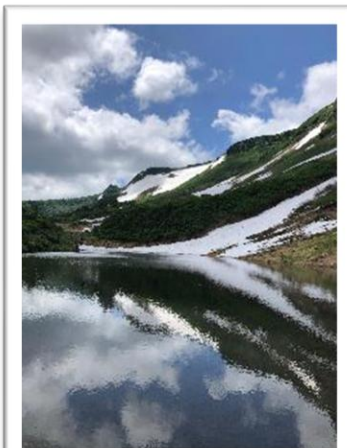
白雲岳避難小屋周辺でもヒグマが確認されています。



7月6日、テント場から30m程の場所にヒグマが現れ、しばらく付近に居着いていました。テント泊の方へは状況を見て小屋への移動も検討するよう呼び掛けています。今後の状況によりテント場が閉鎖になる可能性もありますので、白雲岳避難小屋のSNSにて最新情報をご確認ください。人慣れを助長させないよう、写真を撮るためヒグマに近づく等は絶対にやめてください。テント泊の方は、食糧やゴミの管理を徹底して行うよう、よろしくお願いいたします。

湿原の植物 ミツガシワ

土俵沼には氷河期からの残存種と言われ、高山の水辺に咲くミツガシワが見られます。白くてとても可愛い花を咲かせるそうですが、毎年咲くわけではありません。7/9ではまだ花は確認できていませんが、今年は花に出会えるでしょうか。



大学沼

大学沼

エゾ沼

式部沼

高原沼

高原沼

空沼

高根ヶ原斜面

空沼

白雲岳への土嚢袋荷上げボランティア ヒグマ情報センターで受付中!!



白雲小屋周辺の登山道整備を進めるために、白雲避難小屋へ土嚢袋を運んでくれるボランティアさんを募集しています。一枚約700gです。一枚でもうれしいです。3枚以上届けてくださった方には記念バッジを贈呈させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



高原温泉沼めぐり 登山コースの様子

のぞき地獄

ヤンベ分岐

のぞき地獄

7/1遭遇



高原温泉
ヒグマ情報センター



7/9遭遇



ヒグマの行動によってコースの開放状況が変わります。高原温泉ヒグマ情報センターでは、InstagramやFacebook, ホームページで最新の情報を更新しています。ぜひご確認ください。



【編集後記】
新人スタッフKです。愛知からセンターに勤務して2回目の巡視で2頭のヒグマに遭遇しました。これまで一度も出会ったことのなかった熊。その後2週間の間に7頭のヒグマに遭遇し、この大雪山国立公園の生命の濃密さ、豊かさにとただただ驚いている毎日です。

大雪山国立公園
高原温泉沼めぐり登山コース
2025年 第2号 (7月11日)
発行：ヒグマ情報センター